

目指すべき“活動の拠点”の機能 用語説明

Co-working (コワーキング)

主に個人事業者および小規模法人が、開放的なワークスペースを共用し、各自が自分の仕事をしながらも、自由にコミュニケーションを図ることで情報や知見を共有し、協業パートナーを見つけ、互いに貢献しあう「ワーキング・コミュニティ」の概念およびその空間のこと。

80以上の都市で展開している「インパクトハブ」の場合、開放的で居心地の良い空間があり、敷居がなく全体が見渡せるような仕組みと参加したくなる仕掛けを用意している。

デザイン思考

デザインとは、人間が日々生活をする上で発生する外観・設計・関係においての問題を解決するという意味で、デザイン思考は、問題解決をするための思考法となっている。

ピアレビュー (peer-review)

専門家仲間が研究内容を吟味すること。科学者などの間で、研究の成果などを、情実なしに公正に評価するために行われる。※「peer」は同僚・仲間の意味。

コミュニティビジネス

地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取り組みのことで、地域における創業機会・就業機会を拡大する効果が望まれる。

また、地域住民自らが主導し実践することによって、地域社会の自立・活性化、地域コミュニティの再生などの効果が期待されると同時に、活動主体たる地域住民にとっては、社会活動へ参画することで自己実現ややりがいを得る機会となる。

インキュベーション (incubation)

設立して間がない新企業に国や地方自治体などが経営技術・金銭・人材などを提供し、育成すること。「incubation」は抱卵・培養・保育の意味。

エンパワーメント (empowerment)

「力をつける」という意味。

企業経営分野においては、組織としてのパフォーマンスを最大化するために、現場に権限を与え、従業員の自主的・自律的な行動を引き出す支援活動のこと。

介護福祉分野においては、障害を持った方、あるいはその家族がより内発的な力を持ち、自らの生活を自らコントロールできること、または、自立する力を得るような支援活動のこと。